

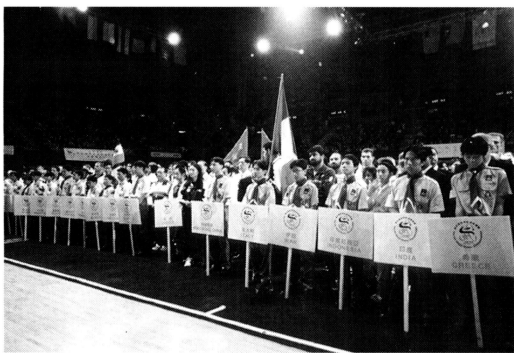
第5回世界武術選手権大会 盛大に挙行

11月3日～7日・香港 日本選手団は銅メダル3

「第5回世界武術選手権大会」が11月3日～7日、国際武術連盟(IWUF)の主催、香港武術聯合会の主管により、香港の香港体育館で行われた。

55ヵ国・地域から役員・選手800人
 套路男女20種目・散打11階級実施

大会には、55ヵ国・地域から役員・選手800人が参加した。従来の太極拳、南拳、長拳、剣術、刀術、槍術、棍術の7種目男女合計14種目に加えて、今大会から太極剣、南刀、南棍の3種目が正式種目となり、套路競技は男女計20種目が行われた。套路競技とは別に散打競技(体重別11階級)が行われた。套路競技には、日本代表選手最終選考会として開催された第16回全日本武術選手権大会で選抜された選手8人(男女各4人)が出場した。散打競技には、日本連盟加盟団体の東京武術散



各国・地域の代表選手団が一堂に会して盛大に開幕式

手倶楽部から推薦された選手2人が出場した。

開幕式が11月3日に盛大に行われ、翌4日から競技開始となった。中国が金メダル11、銀メダル1(套路および散打)を獲得して、実力通りの圧倒的な強さをみせた。開催地の中国香港が金6、銀6、銅5の成績で、前回のローマ大会に引き続き「中国に次ぐ第2位の地位」を占めた。なお、メダル獲得数では中国香港が最多となった。なお、套路競技だけの成績でも、成績順位は、①中国(金8)、②中国香港(金6・銀6・銅5)、③ベトナム(金3・銀3・銅3)となっている。中国は套路競技で男女計9種目のみに出場し、いずれも金メダルを獲得している。

日本選手はいずれも健闘したものの、銅メダル3個の成績に終わった。競技初日に佐久間亮司選手(東京中国武術協会)が男子長拳で、渡邊俊哉選手(大阪府連盟)が男子太極拳でそれぞれ銅メダルを獲得した。翌5日の女子長拳で川崎秋子選手(東京太極拳協会)がやはり銅メダルを獲得した。

佐久間亮司選手は長拳の他に、男子剣術5位で入賞している。渡邊俊哉選手は太極剣では6位となった。早岡慎介選手(大阪府連盟)は男子南拳で6位、南刀7位でいずれも入賞。川崎秋子選手は、女子長拳以外では女子刀術4位、女子棍術で7位でいずれも入賞した。

加藤六月会長が勲一等旭日大綬章

～秋の叙勲で晴れの受賞～

日本連盟の加藤六月会長(衆議院議員)が、秋の叙勲で勲一等旭日大綬章を受賞した。

日本政府は11月3日、秋の叙勲の受賞者4,513人を発表した。うち最高位の勲一等旭日大綬章は加藤会長はじめ8人が受賞。

加藤会長は農水相・国土庁長官等を歴任。平成2年3月に日本連盟会長に就任、昨年6月に会長に再任されている。

天皇・皇后両陛下が接見

伍紹祖中国国家体育総局局長

(財)日本体育協会の招きで来日した伍紹祖中国国家体育総局局長一行5人は、10月23日熊本県で開催の第54回国民体育大会秋季大会開会式を視察した。

開会式終了後、役員懇親会が開かれ、席上、天皇・皇后両陛下が伍紹祖局長とお会いになり、親しくお話された。

天皇陛下は中国の建国50周年のお祝いを述べられ、さらに、「両国間でスポーツ交流がさかんに行われていることを喜ばしく思います。これからもスポーツをとおして友好親善がさらに深まることを切に期待しています」と、お言葉をかけられた。

赤澤依美選手(日本女子太極拳クラブ)は、女子太極拳、女子太極剣の2種目とも4位入賞。武田幸子選手(東京中国武術協会)は女子南拳8位、女子南刀6位、女子南棍5位でいずれも入賞している。

日本選手団でただひとり十代(19歳)で代表となった山岸カヤ選手(東京太極拳協会)は、女子剣術8位、女子槍術6位と2種目入賞を果たし、今後の活躍を期待させる成績を残した。

散打競技に出場した2選手は残念ながら入賞することができなかった。

日本選手団(套路競技)は10月30日~31日に神奈川県藤沢市の神奈川県立体育センターで直前調整宿を行い、11月1日出発、同8日に帰国した。

2001年には第6回世界選手権大会 第6回アジア選手権は2000年開催

世界武術選手権大会は西暦奇数年、アジア武術選手権大会は西暦偶数年にそれぞれ開催されている。次の世界選手権大会は、2001年に中央アジアのアルメニアで開催される予定。来年の第5回アジア選手権大会はベトナム・ハノイで10月31日~11月5日に開催される。

● 世界武術選手権大会の沿革

第1回大会	1991年10月	中国・北京
第2回大会	1993年11月	マレーシア・クアラルンプール
第3回大会	1995年8月	アメリカ・ボルチモア
第4回大会	1997年11月	イタリア・ローマ
第5回大会	1999年11月	中国香港

来秋ハノイでアジア選手権大会 アジア武術連盟(WFA)理事会

アジア武術連盟(WFA)第19回理事会は11月1日夜、中国香港のミラマーホテルにおいて挙行された。

同会議は昨年12月のバンコクでの第18回理事会以降の活動状況を了承した後、第5回アジア武術選手権大会の開催について協議を行った。

第5回アジア選手権大会は来年10月31日開

幕して11月5日まで、ベトナムのハノイにおいて開催される。実施競技の套路と散打の各種目はWFA技術委員会で協議のうえ、今年中に開催要綱をWFA各加盟国・地域へ通知することになった。

現在、WFAには27の国・地域が加盟している。カンボジアが近く加盟の手続きを行う予定。

同会議には日本連盟から、WFA事務総長の村岡久平専務理事、WFA事務局主任の岡崎温常務理事、WFA事務局副主任の石原泰彦理事が出席した。